

『共生・協働』でまちづくり vol.43

大隅北校区に新たな住民の集いの場として、東屋「おろんの館」が完成し、12月9日に地区のクリスマス会を兼ねて落成式がありました。

地元から中学校や農協や店がなくなり、「人が集まる場、買い物ができる場を作りたい」、「自分たちが住む地域は自分たちの手で元気にしよう」とこの東屋の建設に取り組みました。地元の有志が集まり「おろんの会」を結成、会員や地元住民などからの寄附や土地の提供を受け建設しました。

柱が3本という形にもこだわっています。ぜひ、一度見に行ってみましょう。



ミニ講座 ～ 共生・協働セミナー ～

市内には、地域にある史跡を掘り起こしたり、遊歩道などを整備したり、または水車や、イルミネーションを建設したり、そば作りなどをして地域づくりに取り組んでいる地区があります。自分たちの住む地域を見つめ直し、地域に何が必要かを考えたり、地域を自分たちの手で作ったり、守ろうとしたりしている取り組みです。



大隅月野地区の水車

解決すべき地域の課題やテーマを見つけよう

地域には、その地域にしかない問題（課題）があります。

地域課題やテーマを見つけることは、地域づくりには欠かせません。その手がかりは、誰かの「小さな悩み」やどうにかしなければという「危機感」です。その思いを地域内の誰かに打ち明けてみましょう。共感の輪が広がれば広がるほど、地域の課題やテーマとなります。課題はその地域に住む住民共通の「悩み」なのです。



末吉橋野地区の平松城跡

「悩みを打ち明けるような場がない。」

「地域の人と話す機会が少ない。」

そうであれば、まず、このことから解決しましょう。解決の糸口として、少し勇気を出して、隣（近所）の家の人に話しかけてみましょう。「自分たちの悩みを自分たちの手で解決できないか、どうにかしよう。」の思いで地域づくりについて語り合ってみませんか。

企画課男女共同参画係 ☎ 0986-76-8802